

インターンシップ受入マニュアル

I 目的

学生が訪問看護ステーションにおいて、訪問看護の実際を見学するとともに、どのような職場なのかを体験し、訪問看護の魅力や事業所の雰囲気や方針を知ってもらう。
また、訪問看護への就業の促進や卒業後の就職のミスマッチを防止する。

II インターンシップ受入の実際

【当日までの流れ】

- ① インターンシップを希望する学生は、静岡県訪問看護ステーション協議会（以下協議会）にインターンシップ応募用紙を FAX あるいはメールで送信する。
応募用紙には、インターンシップをしたい訪問看護ステーション名（希望ステーションが決められない場合は、自宅近く等の記載でも可）希望する日程、体験したい内容等をできるだけ具体的に記載する。
例：高齢の利用者の訪問看護の実際を見学したい
小児の訪問看護の実際を見学したい 等
- ② 協議会は、学生に連絡し、内容を確認し、実習先の検討をし、実習ステーションへ依頼をする。
- ③ 実習を受けるステーションは希望する日程の中から、実施日を決定し、協議会へ連絡をする。
また、利用者・家族の承諾をとる等、訪問先の調整をし、職員へインターンシップ実施の伝達・周知をする。
- ④ 協議会は、学生へ実習日他の連絡をする。
- ⑤ 見学日当日、実習を受けるステーションは、名札・弁当を準備する。

【事前に伝える確認事項】

- 持ち物 ① 個人情報保護の誓約書（ステーションの書式）提出のために、印鑑を持参する。
② 飲み物・筆記用具等

服装 華美でない動きやすい服装（ズボン・ポロシャツ・靴下）
または在籍する学校のユニホーム

【当日】

(参考例：静岡県看護協会立訪問看護ステーション)

時間	項目	内容・留意事項
8時45分～	オリエンテーション	ステーションの概要を説明。 個人情報保護の誓約書の説明をし、提出。 訪問時のマナーについて説明。 訪問する利用者の情報提供。
9時～	ミーティング	朝のミーティングに参加 学生の自己紹介
9時15分～	訪問	看護師と同行訪問 訪問先では、学生は自己紹介をし、ケアの見学 ・利用者や家族とのコミュニケーションは可 ・看護師の指示のもとで、利用者の体を支える程度の介助は可 退院前カンファレンス・担当者会議等があり、学生が希望する場合は、参加可
12時15分～	昼食	スタッフと共に昼食
13時15分～	訪問	午前中と同様
16時15分～	カンファレンス	同行訪問後、管理者または指導者と一緒にカンファレンスを行う。 ・見学の感想や質疑応答 訪問以外の業務内容や事業所の特徴、人材育成などについて説明を行う

※ 上記のタイムスケジュールは参考です。

内容や時間については、個々のステーションの状況で調整する

【終了後】

静岡県訪問看護ステーション協議会に、「インターシップ受け入れ後報告書」を提出する。

※ 報告書提出後、協議会よりインターンシップの謝礼が支払われる。